

大腸菌 RuvC タンパク質

01-011 20 µg 01-012 100 µg

大腸菌 RuvC タンパク質は、相同組換え、組換え修復の後期過程で、組換え中間体であるホリデイ構造に特異的に結合し、ホリデイ交叉点の対象的な位置にニックを入れて切断し組換え体を解離させる構造特異的なエンドヌクレアーゼである（1、2）。

本品は組換え体タンパク質として大腸菌で多量に発現させ、クロマトグラフ法などにより高度に精製したものである（図1）。分子量は 19 kD で水溶液中でもホリデイ構造に結合した状態でも2量体を形成している。

用途

- 1) 相同組換えの機構の研究
- 2) ホリデイ(Holliday)構造特異的なエンドヌクレアーゼとしての機能の利用

製品の性質

純度：SDS-PAGE（CBB 染色）で 90%以上が RuvC タンパク質

濃度：1 mg/ml（BCA 法で決定）

性状：50% グリセロール, 10 mM Tris-HCl (pH 7.5), 2 mM EDTA, 100 mM NaCl,
5 mMメルカプトエタノール

保存：-20℃（長期、-70℃）

データリンク Swiss-Prot [P0A814](#)

文献 この製品は文献2と3に使われています。

1. Shinagawa H and Iwasaki H (1996) "Processing the holliday junction in homologous recombination."
Trend Biochem. Sci. **21**:107-111 PMID: [8882584](#)
2. Iwasaki H *et al.* (1991) "Escherichia coli RuvC protein is an endonuclease that resolves the Holliday structure."
EMBO J **10**:4381-4389 (1991) PMID: [1661673](#)
3. Murayama Y. *et al.* (2008) "Formation and branch migration of Holliday junctions mediated by eukaryotic recombinases." *Nature* **451**:1018-1021 PMID: [18256600](#)

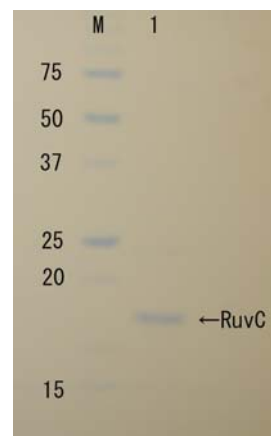


図1 ポリアクリルアミドゲルによる RuvC タンパク質の電気泳動

関連製品

[01-007](#) *E.coli* RuvA protein

[01-009](#) *E.coli* RuvB protein

[61-005](#) anti-RuvA antibody, rabbit polyclonal

[61-007](#) anti-RuvB antibody, rabbit polyclonal

[61-009](#) anti-RuvC antibody, rabbit polyclonal